

2023年5月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) メーデー記念行事延期後の開催
- (2) グアンタナモ県カイマネラ市における抗議活動
- (3) 第6回共産党中央委員会総会の開催
- (4) 第10立法期人民権力全国議会第2回臨時会合の開催
- (5) 各県知事及び副知事の選出

2 外交

- (1) モラレス・オヘダ共産党組織・幹部政策担当書記のベトナム訪問
- (2) オレシュキン・ロシア大統領補佐官のキューバ訪問
- (3) 茂木自民党幹事長のキューバ訪問
- (4) アマレジエ・キューバ女性連盟（FMC）事務局長のベトナム、ラオス、カンボジア訪問
- (5) アルバレス内務大臣のベトナム、ロシア訪問
- (6) エルナンデス革命防衛委員会全国調整官のベトナム、ラオス、ロシア訪問
- (7) チェルニシェンコ・ロシア副首相のキューバ訪問
- (8) ボレルEU外務・安全保障政策上級代表のキューバ訪問

3 経済

- (1) ヒル副首相兼経済企画大臣がニッケル生産工場を視察
- (2) スペイン政府、キューバ人起業家に対するセミナーを開催
- (3) シエンフエゴス火力発電所第4号機（日立製作所製）が稼働開始
- (4) キューバ・ロシア間ビジネス委員会及び経済ビジネスフォーラムの開催
- (5) ホセ・マルティ製鉄所近代化の完了
- (6) ロシアからの定期直行便再開
- (7) 都市ガス供給の一時停止
- (8) キューバ及びマドリード商工会議所間の協力協定締結
- (9) ヒル副首相兼経済企画大臣による経済状況の報告
- (10) エネルギー危機に関するエネルギー鉱山大臣による説明

【本文】

1 内政

- (1) メーデー記念行事の延期後の開催

5日、ラウル・カストロ陸軍大将、ディアスカネル大統領及びマレーロ首相等の政府要人は、首都ハバナのマレコン通りで開催されたメーデー記念行事に参加した。通常、メーデー記念行事は5月1日にハバナの革命広場で大規模な動員とともに開催されてきたが、国営メディアによると、本年は悪天候のため日程が延期されたもので、約千人が参加した由。ギラルテ・キューバ労働者連合事務局長は国営メディアに対して、開催場所の変更は、今日我が国が経験している複雑な経済状況の一部として、燃料の確保に限界があることも要因である旨述べた。

(2) グアンタナモ県カイマネラ市における抗議活動

6日、グアンタナモ県カイマネラ市（キューバ東部グアンタナモ県に位置する米海軍基地に隣接する人口1万人ほどの港町）で、数十人の市民が、自由なキューバ万歳などと叫びながら歩き、その様子を撮影した動画が拡散された。その数分後、全国でネット障害が発生した。それに対して、キューバ政府は、右は酔っ払いによる不規律であり、現地の状況は落ち着いている旨発表。7日、在キューバ米国大使館は、平和的な抗議活動に対する暴力的な対応であるとしてキューバ政府を非難。一部報道によれば5名の市民が逮捕された。

(3) 第6回共産党中央委員会総会の開催

23日、第6回共産党中央委員会総会が開催され（前回の第5回総会は2022年12月開催）、ディアスカネル大統領は、ここ数カ月で、キューバを取り巻く様々な状況が複雑化し、特に電力供給問題や燃料不足が深刻化していることを認めた上で、党としての優先課題として経済発展、社会福祉、組織及び制度の強化、幹部との連携強化、イデオロギー強化の5つを挙げた他、食料自給のための農地活用の必要性、地方自治の強化、国営企業の体制強化が不可欠である旨述べた。

(4) 第10立法期人民権力全国議会第2回臨時会合の開催

25日に開催された人民権力全国議会第2回臨時会合には、ラウル・カストロ陸軍大将も出席し、国内の経済状況の報告（3（9）参照）、通信法の承認、常設作業委員会の設立等につき討議された。

(5) 各県知事及び副知事の選出

28日、全国15県の知事・副知事（計30名）の選挙が実施され、全国選挙管理委員会が結果を公表した。知事及び副知事候補は、ディアスカネル大統領の提案により、人民権力市議会が任命し、全国の市議会議員が投票するもの（有効投票の過半数獲得で当選）。全国選挙管理委員会の発表によると、全国12,035名の市議会議員の100%が投票、そのうち有効投票は98.44%で、任命された全ての知事及び副知事が90%以上の賛成票で選出された。任期は本年6月4日から5年。選出された30名の知事及び副知事のうち、新任は

16名、留任は11名、副知事から知事に昇進したのは3名（含：ハバナ県知事）。

2 外交

（1）モラレス・オヘダ共産党組織・幹部政策担当書記のベトナム訪問

中国及びラオスを公式訪問していたオヘダ書記は、4月30日～6日、最終訪問国としてベトナムを訪問。最初にホーチミン市を訪問し、グエン・バン・ネン・ホーチミン市共産党委員会書記と会談。ハノイでは、ヴォー・ヴァン・トゥオン国家主席がオヘダ書記と会談（3日）し、経済革新、社会経済発展、社会主義建設に関する研究及び実践における二国間協力の拡大継続が確認された。また、滞在中に開催されたキューバ及びベトナム共産党間第5回理論・実践セミナーでオヘダ書記は、共産党の幹部政策はその継続性を重視するため若者層に焦点を当てる必要性につき強調した。

（2）オレシュキン・ロシア大統領補佐官のキューバ訪問

2日～3日、オレシュキン・ロシア大統領補佐官（経済担当）はキューバを訪問し、ディアスカネル大統領と会談。キューバとロシアが、経済・商業・金融関係を政治関係と同じレベルにまで引き上げる意思を確認した。ディアスカネル大統領は、今回の訪問が「二国間の全ての協力協定をフォローアップし、継続させる意図を示すもの」と述べるとともに、ロシア政府、特にプーチン大統領は、キューバの問題に非常に敏感であると感じていると述べた。これに対してオレシュキン大統領補佐官は、二国間関係強化のための3つの重要分野として、エネルギー分野、観光分野、ロシア企業によるキューバ経済への投資につき言及した。また、投資対象として、鉱業、農業、観光、インフラ、エネルギーを挙げ、今回の訪問には対キューバ投資に意欲的な複数の企業の幹部が同行していると述べた。

カブリサス副首相兼外国貿易・外国投資大臣との会談では、二国間経済関係の深化及び相互利益分野におけるプロジェクトの実施を目的とした意見交換を行った。カブリサス副首相は、ロシアは第5位の貿易相手国であるとし、ロシアによるエネルギー分野での投資に言及した他、農産業、金融、観光の分野での投資も検討される見込みである旨述べた。これに対してオレシュキン大統領補佐官は、キューバ経済の潜在力を活用するために、新たな関係や交流の形態が検討される予定である旨述べるとともに、具体的なプロジェクト確立のため、両国の間で覚書を締結する旨述べた。

（3）茂木自民党幹事長のキューバ訪問

3日～4日、茂木自民党幹事長はキューバを訪問し、ディアスカネル大統領、カブリサス副首相兼外国貿易・外国投資大臣、ロドリゲス外相と会談した。ディアスカネル大統領は会談後、自身のツイッターで、「我々は、両国間の友情と協力の絆を強調するとともに、共通の利益の様々な分野で二国間関係を引き続き発展させていくことに合意した」と言及した他、ロドリゲス外相は「茂木自民党幹事長と誠意のある会談を行った。会談では、二国間関

係の良好な状態を拡大・強化する共通の意志を確認した」と述べた。

(4) アマレジエ・キューバ女性連盟（FMC）事務局長のベトナム、ラオス、カンボジア訪問

11日～25日、アマレジエFMC事務局長（キューバ共産党政治局員）は、ベトナム、ラオス、カンボジアを訪問。ベトナムでは、フエ国会議長と会談し、二国間関係強化の意志を確認した他、ズン・ハノイ市党委書記、Ngaベトナム女性連合会会長等と会談した。ラオスではトンルン・シースリット国家主席（ラオス人民革命党書記長）と会談し、同国家主席は今回の訪問を両国の国民間、特にラオス女性連合（LWU）とFMC間の良好な関係と協力関係の改善に大きく寄与するものであると評価した。カンボジアでは、ロン女性大臣、KitiSangaha副首相と会談した。

(5) アルバレス内務大臣のベトナム、ロシア訪問

15日～17日、ベトナムを訪問したアルバレス内務大臣（キューバ共産党政治局員）は滞在中、ファム・ミン・チン首相と会談し、今後の二国間協力の強化のために、ハイレベルの代表団と省庁、地方、企業間の対話と交流を引き続き維持することが確認された。トーラム公安大臣との会談では、特に警護技術やテロ計画の防止、警護装備、警察官の能力開発のための交流強化につき合意した他、キューバ産医薬品、ワクチン、生物学的製剤の研究・生産における協力を促進することも確認された。

その後、アルバレス内務大臣はロシアを訪問し、5月23日～25日にロシア安全保障会議の主催で開催された第11回国際安全保障問題担当上級代表会議に参加。5月26日にはゾロトフ・ロシア国家親衛隊長と、テロや犯罪との戦い、武器密売の取締り、その他の活動分野における共同作業の効果を高めることを目的とした協力協定に署名した。また、アルバレス内務大臣はロシア滞在中、パトルシェフ・ロシア安全保障会議書記と会談し、「主に国家、地域、世界の安全保障の確保に関連する関心事」が話し合われた他、「地域の安定の問題が検討された」旨安全保障会議が発表した。

(6) エルナンデス革命防衛委員会全国調整官のベトナム、ラオス、ロシア訪問

16日～6月2日、エルナンデス革命防衛委員会（CDR）全国調整官（18名の国家評議会委員の一人）は、ベトナム、ラオス及びロシアを訪問。ベトナムでは、ベトナム祖国戦線（FPV）中央委員会のDo Van Chien会長と会談し、CDR及びFPV間で情報交換及び協力強化を確認した。ラオスでは、サバナケット県知事、クアンビン県共産党書記等と会談した。

その後、ロシア連邦社会院の招待でロシアを訪問し、ロシア社会院、連邦議会及び外交アカデミー幹部等との会議に出席した。

(7) チェルニシェンコ・ロシア副首相のキューバ訪問

17日～19日、チェルニシェンコ・ロシア副首相が、第20回経済・商業・科学技術協力のためのキューバ・ロシア政府間委員会の共同議長として出席するためキューバを訪問。同委員会のキューバ側共同議長はカブリサス副首相兼外国貿易・外国投資大臣。同委員会では、2030年までのキューバ国家経済社会開発計画の実施におけるロシア資本の参加拡大促進が確認された他、経済、金融、エネルギー、輸送、農業、通信、健康、教育、観光分野等における相互協力につき検討された。チェルニシェンコ副首相は、同委員会で、本年3月からキューバ国内でのロシア独自の決済システム「ミール」の利用開始、キューバにおけるロシア系銀行の業務形態調整、ルーブルでの支払いを提供するプロジェクトの進行、ハバナにおけるロシア・トレード・ハウスの開設予定等につき報告した。それに対してカブリサス副首相は、エネルギー及び小麦の供給を保証するためのロシアとの継続的な協力と対キューバ債務の再編措置に謝意を表明した。また、19日にはディアスカネル大統領と会談。ディアスカネル大統領は、ロシア、特にプーチン大統領によるキューバの状況への理解と、昨年11月のキューバ・ロシア首脳会談での合意事項達成のためのロシア側の意志に謝意を表明するとともに、ロシアとの経済・商業・金融関係を政治・外交と同じレベルにまで高めていきたい旨述べた。

(8) ポレルEU外務・安全保障政策上級代表のキューバ訪問

24日～26日、ポレルEU上級代表が第3回キューバEU合同協議会（注：EU側議長はポレル上級代表、キューバ側議長は、本来はロドリゲス外務大臣であるが体調不良のため、今回のみカブリサス副首相兼外国貿易・外国投資大臣が務めた）出席のためキューバを訪問。同協議会では、2016年12月にキューバとEU間で署名された政治対話及び協力に関する協定の実施状況を確認した。また、ディアスカネル大統領との会談（26日）では、同大統領が、政治対話及び協力に関する協力協定の遂行にあたり、同上級代表の訪問や幅広い分野での協力プログラムの実施等を通じた相互理解が関係強化に貢献していることを強調し、更なる関係強化の意志を確認したのに対し、ポレル上級代表は、EU加盟国それぞれの特性を考慮しつつ、政治対話及び協力に関する協定の実施を引き続き推進したい旨述べた。マレーロ首相との会談（26日）では、意見交換や共通の課題への取り組みという点で、政治対話はその価値を証明していることに両者が同意した。

3 経済

(1) ヒル副首相兼経済企画大臣がニッケル生産工場を視察

11日、ヒル副首相兼経済企画大臣は、オルギン県モア市の国営「コマンダンテ・エルネスト・チェ・ゲバラ」ニッケル生産工場を視察した。工場幹部との会合でヒル副首相は、現在ニッケル価格は、当初の予定価格よりも下回っており、同時に輸入される原料が増加しているため、コストをかけずに輸出を達成する方法を分析する必要がある旨述べた。

(2) スペイン政府、キューバ人起業家に対するセミナーを開催

12日、在キューバ・スペイン大使館主催で、「スペインとのビジネスの進め方」セミナーが開催され、マルティン在キューバ・スペイン大使は、キューバの中小企業及び個人起業家の成長を支援し、スペイン企業とのつながりを強化するスペイン政府の意向を確認した。同セミナーは、キューバ人の個人起業家に対し、可能なビジネスや輸出を促進するための情報提供、スペイン国内の企業とのマッチングや潜在的な投資家を探すことを目的として実施されたもの。現時点で、キューバ政府は7,700以上の中小零細企業を承認している。

(3) シエンフエゴス火力発電所第4号機（日立製作所製）の再稼働

14日付国営メディアは、メンテナンスのため約3か月間稼働停止していたシエンフエゴス火力発電所の第4号機タービンが120MWの出力で稼働開始し（発電能力は158MW）、国内発電供給網への同期が完了したと発表した。第4号機は日立製作所製で1978年に建設され、45年間稼働している。国内で最も安定的に電力を供給できるユニットとされ、再稼働に対してディアスカネル大統領はツイッターで「電気エネルギーシステムの安定化に向けた確固たる一歩」と祝福した。

(4) キューバ・ロシア間ビジネス委員会及び経済ビジネスフォーラムの開催

チェルニシェンコ・ロシア副首相（上記2（7）参照）のキューバ訪問にあわせて17日～18日に開催された第11回キューバ・ロシア間ビジネス委員会及び経済ビジネスフォーラムには、ロシア企業52社及びキューバ企業106社の代表が出席し、輸送物流、農業協力、イノベーション、デジタル変革、建設、観光等の分野での関係強化につき検討された。同時に、ワイン生産、ラム酒、建設資材、街灯技術に関する展示会が開催された。同委員会の最後に、人工知能の協力に関する覚書、小麦の供給に関する契約、合併事業の開発に関する趣意書、建設・観光・砂糖産業・エネルギー等での協力に関する合計8つの文書が署名された。同委員会の閉会式にはディアスカネル大統領、マレーロ首相及びカブリサス副首相兼外国貿易・外国投資大臣も出席した。閉会式で挨拶したカブリサス副首相は、ロシアとの商業的な交流や具体的な合意において新しい大きな可能性が開かれていることに満足の意を表明し、今次機会は、両国の関係を強化するための対話とビジネスの理想的な場であったと述べた。ロシアの対キューバ輸出額は2022年に前年比3倍となり、二国間貿易額は4億5千万米ドルに達した。

(5) ホセ・マルティ製鉄所近代化の完了

18日、ロシアからの融資を受けて行われていたハバナ近郊に位置するホセ・マルティ製鉄所の近代化計画が終了し落成式が実施され、キューバ訪問中のチェルニシェンコ・ロシア副首相、ラミロ・バルデス副首相（革命司令官）及びカブリサス副首相兼外国貿易・外国投資大臣が出席した。近代化計画には20社以上のロシア企業が参加し、同製鉄所の年間製鉄

能力は約22万トン。

(6) ロシアからの定期直行便再開

19日、キューバ訪問中のチェルニシェンコ・ロシア副首相は、本年7月1日から、アエロフロート社がロシア・キューバ間の定期直行便を再開する旨発表した。両国間の直行便は、ロシアによるウクライナ侵攻後の2022年3月から運休していた。

.

(7) 都市ガス供給の一時停止

21日、国営電力公社(UNE)は、首都ハバナにガスを供給するマヤベケ県のエネルギー社のガス製造工場が技術的故障が発生し、ハバナへの都市ガスの供給が停止中である旨発表した。その後のデ・ラ・オ・エネルギー鉱山大臣の発表によると、ガス供給サービスはすぐに復旧した由であるが、22日もハバナの一部ではガスが供給されない状態が続いた。

(8) キューバ及びマドリード商工会議所間の協力協定締結

22日、カリカルテ・キューバ商工会議所会頭及びアセンシオ・マドリード商工会議所会頭は、貿易、観光、サービス業の振興のための情報交換に関する協力協定に署名した。

(9) ヒル副首相兼経済企画大臣による経済状況の報告

25日に開催された人民権力全国議会臨時会合でヒル副首相兼経済企画大臣がキューバの経済状況を報告。本年4月末までの観光客数は約98万人(主な国籍はカナダ及びロシア)で、本年の目標値350万人の28%に達したこと、対外貿易額の約62%が中小零細企業によるものであること、現時点で8千近くの中小零細企業が承認されたこと、赤字の国営企業が昨年より減少していること、依然として国営両替所における外貨の販売量に制限があること、闇市場に外貨が流出しているため外貨紙幣が不足していること、本年4月の物価上昇率は前年比45.4%であること等を報告した。

(10) エネルギー危機に関するエネルギー鉱山大臣による説明

27日付 Cubadebate(政府系インターネット・ニュースサイト)は、国内の電力及び燃料供給の現状にかかるデ・ラ・オ・エネルギー鉱山大臣による説明を掲載。2022年末から実施してきた国内の発電量増加のための措置(フェルトン火力発電所(オルギン県)及びシエンフエゴス火力発電所のメンテナンス、(火災が発生した)マリエル分散型発電所の復旧、(故障していた)マリエル及びモアの分散型発電所のモーターの修理、(故障していた)エネルギー社発電所の発電量回復、全国の分散型発電所の発電量改善等)につき説明しつつ、最近では、発電所に対する燃料の供給業者の不足、ギテラス火力発電所(マタンサス県)の大規模な故障で、全国で電力供給サービスが停止する時間が長くなったが、これらの問題が解決されれば、5月末までに影響は一定数減少し、今夏は状況が改善されることが予測され

ると述べた。また、燃料の問題に関しては、「状況の改善と不快な行列の減少が見られる」との認識を示したものの、燃料供給制限措置が今後いつまで続くのかについては言及しなかった。